

第 39 回 日本産業技術教育学会東海支部大会
令和 3 年 12 月 11 日 (土), オンライン開催
研究発表会プログラム

第 1 室

1a [教育実践] 9:30~10:30 座長: 小原光博 (岐阜大・教育)

1. Society5.0 に向けた小学校段階における AI リテラシー育成のための教材開発と評価
愛教大 ○中村亮健 (院生), シャープ(株) 景井美帆, 上教大 山崎貞登, 愛教大 磯部征尊
2. 新しい学習評価に着目した技術・家庭科のカリキュラムのデザイン
～学習者用評価規準表に基づくワークシートの開発を通して～
新潟・東北中 ○保坂 恵, 新潟・城北中 水野頌乃助, 愛知・井上小 田中智恵,
愛知・北中 伊奈久美子, 愛教大 磯部征尊
3. 大学における紙製 4 足受動歩行模型を用いた科学的探究活動
静岡大・教育 ○古田このみ (院生), 松永泰弘
4. 「材料と加工の技術」における製作題材の提案と授業開発
岐阜大・教育 ○赤羽勇哉 (院生), 小原光博

1b [教材開発] 10:40~11:40 座長: 小原光博 (岐阜大・教育)

5. 材質による音響特性の変化を体験的に学ぶことのできるスピーカー教材の開発
静岡大・教育 ○伊藤大智 (学生), 鄭 基浩
6. 木製腕立て運動器具教材の開発
静岡大・教育 ○稲垣龍之介 (学生), 鄭 基浩
7. 木製曲げわっぱ教材の性能評価
静岡大・教育 ○平井颯太郎 (学生), 鄭 基浩
8. 自由設計を取り入れた電子・木製響板楽器教材の開発
静岡大・教育 ○奥平紘大 (学生), 鄭 基浩

1c [教育方法] 14:10~15:10 座長: 室伏春樹 (静岡大・教育)

9. 中学校技術科において社会的スキルを高める授業の研究 ―反転授業を取り入れた学習を通して―
三重大・教育 ○中柄俊介 (学生), 魚住明生
10. 学びの主体性を高める中学校技術科の導入授業に関する研究
三重大・教育 ○元谷友泉 (学生), 魚住明生
11. 公設民営学校の課題と展望 ―愛知県立愛知総合工科高等学校専攻科の事例から―
○鈴木万里子, 愛知総合工科高・鈴木直樹, 愛教大・鎌田敏之
12. AR で試作するプログラミング教育の提案
静岡大・教育 ○小杉聡一 (学生), 室伏春樹

第2室

2a [教材開発] 9:30~10:30 座長：福岡大輔（岐阜大・教育）

13. 水中移動カメラの開発
静岡大・教育 ○竹澤興亮（学生），紅林秀治
14. ETC を題材とするプログラミング教育の提案
静岡大・教育 ○西家康尋（学生），室伏春樹
15. （演題取り下げ）
16. 双方向通信のための Web アプリ開発
岐阜大・教育 ○神村亮佑（学生），福岡大輔

2b [教材開発] 10:40~11:40 座長：福岡大輔（岐阜大・教育）

17. 運搬用アシスト一輪車の開発
静岡大・教育 ○石川翔（学生），紅林秀治
18. 安全意識の学習を意図したりセッタブルヒューズを用いた懐中電灯教材の開発Ⅱ
静岡大・教育 ○増本和真（学生），改正清広
19. 回路シミュレータを用いた課題解決型学習教材の開発
岐阜大・教育 ○舟越久敏，岐阜大附属 大羽淳也
20. 播種時期と品種の比較によるヒマワリ栽培の教材化に関する研究
静岡大・教育 藤井道彦，○池上翔也（学生）

2c [教材開発] 14:10~15:10 座長：松本金矢（三重大・教育）

21. 数学的探究活動における相貫体教材の開発
静岡大・教育 松永泰弘，○守屋太雅（院生）
22. 斜面を移動する偏心車輪模型の運動解析
静岡大・教育 松永泰弘，○久代義顕（学生）
23. 動力源としてオルゴールを用いたオートマタの教材化に関する研究
静岡大・教育 松永泰弘，○渡辺大地（学生）
24. 棒の曲げ振動の先端で回転しながら揺れる模型教材の運動解析
静岡大・教育 松永泰弘，○村山真由佳（学生）

ポスター会場

3 [ポスター] 13:10~14:00

25. ワイヤレス給電システムを利用した水中掃除ロボット教材の開発と評価
静岡大・教育 ○池谷慎吾 (院生), 紅林秀治
26. 表面筋電位を用いた計測制御教材の開発
静岡大・教育 ○脇谷至恩 (学生), 紅林秀治
27. 手指認識装置を用いた指ロボットの開発
静岡大・教育 ○小山真奈 (学生), 紅林秀治
28. 系統的に計測・制御教材を利用するプログラミング教育の開発
静岡大・教育 ○吉川宗汰 (学生), 室伏春樹
29. 工業技術基礎における学科横断的ライトレースロボット製作学習の提案
静岡大・教育 ○福井由佳 (院生), 室伏春樹
30. ウェブスクレイピングを利用する計測・制御学習の開発
静岡大・教育 ○佐藤裕太 (学生), 室伏春樹
31. 立体 LED キューブを利用した制御教材の開発
静岡大・教育 ○山口慶郎 (院生), 大阪電気通信大 大村基将, 静岡大・教育 紅林秀治
32. 誤答に基づくプログラミング指導の検討
静岡大・教育 ○室伏春樹
33. ドライバ操作における手指動作の分析を基にした指導の研究
愛教大・静岡共同大学院 ○青木麟太郎 (院生), 静岡大・教育 紅林秀治
34. 画面発光読み取り式プログラム転送インターフェース教材の開発
静岡大・教育 ○藤江 光 (院生), 大阪電気通信大 大村基将, 静岡大・教育 紅林秀治
35. おもちゃものづくり教材の開発 ―ゼンマイカーとマリオネット―
静岡大・教育 松永泰弘, ○久保宗士朗 (学生), 匂坂弥郁 (学生)
36. トウモロコシとサツマイモ混作栽培でのトウモロコシ増収効果の確認
愛教大 ○太田弘一, 富田悠暉 (卒業生)

全体スケジュール

	9:30~10:30	10:40~11:40	11:40~12:10		13:10~14:00	14:10~15:10
第1室	教育実践	教材開発	総会	昼 休 み		教育方法
第2室	教材開発	教材開発				教材開発
ポスター	ポスター集 (配布)					コアタイム

第 39 回東海支部大会の概要

■口述発表について

- ・ 会議ソフト「oVice」のバーチャル空間上で、口述セッションを行います。
- ・ 発表者は、各自 PC 内のプレゼンテーション（例：PowerPoint）を画面共有して、口頭発表を行います（あらかじめプレゼンテーションファイルを、主催者側に提出する必要はありません）。
- ・ プレゼン(画面共有)+マイク音声の基本となります（カメラ顔画像は特に必要としません）。
- ・ 発表者は、自分が発表するセッションの 5 分前に oVice 上の発表会場にご参集ください。
- ・ 1 演題の発表時間は 15 分（発表 12 分+質疑 3 分）とします。

■ポスター発表について

- ・ 会議ソフト「oVice」のバーチャル空間上で、ポスターセッションを行います。
- ・ ポスター発表者は、A3 縦サイズのポスター原稿 1 枚（PDF または PowerPoint）をあらかじめ作成し、12月9日（木）17時までに、東海支部 Web サイトのフォームよりご提出ください。提出いただくポスターは、「ポスター集」（PDF 形式、パスワード付、印刷不可）として編纂し、大会当日に参加者全員に、オンライン配布いたします。
- ・ ポスターのフォーマットは自由としますが、ポスター上部には「タイトル」と「発表者」を必ず記載してください。
- ・ 発表者は、大会当日のポスターコアタイム（13:10～14:00）には、oVice 上の各演題のポスターブースにて、ブース訪問者に対して、ポスター集の資料をもとにした対話や補足資料提示などを行います。

■会議ソフト：oVice について【参考】

- ・ 会議ソフト「oVice」の使い方については、以下のサイトをご覧ください。

【基本操作の説明】

<https://www.youtube.com/watch?v=C8r02gYDA50>

【使い方説明の資料】

<https://www.notion.so/ovice/oVice-e18c5df4084f45ad98999bbcf00e536>

※大会詳細と oVice の使い方は、東海支部大会サイト(<http://www.jste.jp/tokai/meeting.html>)にて、情報を随時更新しています。東海支部大会のサイトをご確認ください。